

令和元年10月19日(土)、令和元年度の新潟精神医学会（場所：新潟岩室温泉ゆもとや、会長：白根緑ヶ丘病院 理事長・院長 佐野英孝先生）に参加しました。当院の北村医師が、一般演題として『電気けいれん療法後の再燃・再発予防薬物療法－自験例と文献レビューによる考察』を発表しました。

特別公演は、藤田医科大学医学部精神神経科学 講師 齋藤竹生先生による『クロザピン誘発性無顆粒球症の薬理遺伝学的研究』でした。クロザピンの薬理特性と臨床に始まり、薬理遺伝学の基礎、クロザピン誘発性無顆粒球症に関する最新の研究成果、そして臨床への応用可能性と費用対効果分析まで、最先端の内容を詳細に、しかも一般医師に理解可能な形で明快に講演されました。本講演が契機となって、新潟県におけるクロザピン使用が大いに促進されることが期待されます。